

令和6年度学校評価（保護者アンケート）を読ませていただいて

令和7年2月吉日
大和町立小野小学校
校長 和田 祐子

向春の頃、保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対しまして御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年12月には、お忙しい中保護者の皆様に今年度の学校評価（保護者アンケート）に御回答いただきまして誠にありがとうございました。貴重な御意見をたくさん頂きましたことに感謝申し上げます。大変遅くなりましたが、学校評価の結果をまとめましたので、お知らせいたします。

皆様から頂いた貴重な御意見を今後の学校運営に生かし、これからも子供たちのため、教職員、心を一つに取り組んでいく所存でございます。

どうか、これからも温かく見守っていただければ幸いです。

I 目指す児童像について

(1) 「明るく生きる子供」について

	「そう思う」「どちらかというと思う」	昨年度比
感謝の気持ちを素直に表現	96.2 %	+1.9
互いのよさを認め合える	96.5 %	+2.7
思いやりのある言葉で話す	82.8 %	-3.0
明るい挨拶と返事	84.5 %	+1.9
靴そろえ・傘そろえができる	63.4 %	+0.2

全体的に高評価でした。「靴そろえ・傘そろえができる」については、なかなか難しいようです。「『〇〇週間』などのときにはできるようだが、いつでもできるようにしてほしい」という御意見もございました。よい習慣が身につくように、これからも声掛けを続けて参ります。

<保護者の皆様の御意見の紹介>

- 明るく生きる事は素晴らしいと思います。ただ、親や学校の先生がそこばかりを見たり、押しつけるような事があると、子どもは苦しくなってしまうのかなど。親としてどんな励ましや支えが「明るく生きる子ども」に繋がるのか考えていきたいです。また、広い視野をもっている学校の先生には、「明るく生きる子ども」の言葉の中にある意味をいくつもの視点で捉え、子ども達に伝え接してほしいと考えます。
- 基本的なことは家庭での関わり方が大きいのではないのでしょうか。高学年になると言葉の荒さが出たり、恥ずかしさから挨拶ができなかったりと難しいところではあると思います。

(2) 「賢く生きる子供」について

	「そう思う」「どちらかというと思う」	昨年度比
学び方を知り、進んで学習	63.0 %	-7.0
話をしっかり聞く	74.6 %	-1.6
じっくりと考える	69.9 %	+1.2
意欲的に家庭学習	53.2 %	-1.0

「学び方を知り、進んで学習」については、昨年度より7ポイントマイナスとなりました。「意欲的に家

庭学習」についても低い傾向にあります。今年度から、高学年では家庭学習において自主学習が主になったことに、戸惑う御意見も見られました。学校の授業では、一つの課題に対して友達と考え合う生き生きとした活動場面が見られます。自分で課題を見付け、解決のために試行錯誤する面白さを感じられるように、更に授業作りを工夫し、家庭でも「もっとやってみたい」と自ら学ぼうとする児童の意欲を高められるように今後も指導を続けてまいります。

＜保護者の皆様の御意見の紹介＞

- 宿題はなかなかしたがない。でも放課後自習教室など勉強をするところ、という環境が整っているところではしっかりできるようになっているのを見て学校でそういう場所を作ってくださいるのは大変ありがたいと感じている。
- 自主学習メインとなりましたが、自ら学ぶということがまだ難しいように感じます。自主といいながら強制的にやらされている、という感覚が子どもにあるのも否定できません。
- コツコツ学ぶタイプではありますが、宿題を学校に毎日提出しなくてよいため、まとめてやろうとする姿がみられ残念に思い、言葉をかけました。すぐに行動を改め、毎日頑張っており取り組んでいるようですが、宿題がないため昨年より取り組む量が減ったことを残念に思います。昨年までは、算プリ、漢字、自宅での教材学習で取り組んでいましたが、今年は、計画した勉強と教材学習。宮城の学力が低いので、学校と家庭が協力し合って、子どもの学ぶ意識を高めて行く必要があるのではないかと思います。
- 勉強は出来ませんが、自分の好きなことは黙々とやる。自分で調べて、参考にして時間をかけてやってみる。そういうところは身につけているので、いつか勉強にもその力を向けて欲しいです。

(3) 「強く生きる子供」について

	「そう思う」「どちらかというと思う」	昨年度比
目標をもち、それを実現しようとする	81.9 %	+4.7
楽しく運動し、体を鍛える	80.6 %	-0.6
自分の安全を守れる	88.5 %	-3.0
失敗を恐れず最後までやり抜く	69.2 %	+4.3

「目標を持ち、それを実現しようとする」の項目が、80%を超える評価となりました。保護者の皆様からは、音楽発表会等で粘り強く頑張った姿が見られたという声が寄せられました。一方、苦手なことや失敗することから目を背けがちなので、心も体もたくましい子に育てほしい、自立してほしいという願いをもって子育てに励んでいる保護者の皆様の声も聞かれました。学校でも、日々の授業や行事等、いろいろな体験を通して、自分の目当てに向けて頑張っている姿を認め励まし、子供たちが心も体も健康に育つよう指導を続けて参ります。

＜保護者の皆様の御意見の紹介＞

- 色んな事を、経験させてあげてすぐに諦めない力をつけさせて、何か一つでも得意なこと自信をもてることを持つことが必要だと思います。
- 自分を大切に、「相手を大切に出来る子だと思います。自分がされたら嫌な事はしない。された場合、それは嫌だと伝える。ちゃんと謝ってもらって仲直りする様に向き合う。人との関わりから、自分からも目を背けない事が強い子だと思います。そう芯を持って生きていける様に寄り添っていきます。精神力は個々違います。
- 大丈夫だろうと思っていても、その子自身を見てあげていないと限界に気づかず、不登校や引きこもりなどにもつながると思います。先入観をなくし、個々をしっかり見てほしいです。

II 目指す学校像について

(1) 「子どもにとって学びがいのある学校」について

	「そう思う」「どちらかというと思う」	「分からない」	肯定的回答の昨年度比
授業を大切にし、子供の学ぶ意欲を高めている	77.0 %	13.1 %	-2.6
基礎力・活用力を高める「めあてと	72.7 %	20.4 %	-4.1

振り返り」			
学ぶ意欲を高める家庭学習の推進	63.3 %	14.1 %	-2.6
教科担任制等を活用し、個に応じた指導	58.6 %	31.3 %	-5.1
特別支援学級との交流学习	48.1 %	47.1 %	+6.5
「特別の教科 道徳」の指導	52.7 %	42.7 %	-3.9
豊かな読書活動	73.2 %	18.1 %	-7.0
夢と志を育む教育	57.8 %	33.3 %	-4.4
発達段階に応じた食育	59.1 %	33.1 %	+1.9
発達段階に応じたメディアコントロールやICTモラル教育	54.1 %	38.4 %	-5.4
発達段階に応じた安全・防災教育	81.6 %	16.4 %	-1.0
発達段階に応じた家庭学習を推進	63.9 %	19.9 %	-4.0
興味・関心・意欲・創造性を生かせるクラブ活動・委員会活動	67.1 %	26.8 %	-1.8

各項目の回答傾向は、ほぼ昨年同様でした。マイナス回答が増えてしまったことについては、学校側からの保護者の皆様へ説明不足と反省しております。保護者の皆様からは、「学びがいのある学校」ということについて「何でも気軽に先生や友達に聞ける環境作り」「落ち着いて授業に取り組むことができる環境作り」「教科書以外の豊かな学び」「子供一人一人の理解度に応じた指導の工夫」等、様々な御意見をいただきました。子供たちへの日々の細やかな心配りや一人一人の子供が学ぶ喜びを感じる授業作りを、教職員一同更に心掛けて参ります。

<保護者の皆様の御意見の紹介>

- 今の時代の先生はすごく大変だと思います。子供らしくない子もいるだろうし、伝えても素直に聞けない子もいると思います。一人一人の子供と先生1対1の時間が必要かなとも思います。お友達同士の話、家庭環境の話、勉強の話、家庭では心配だから色々聞きたいけれど、忘れたとかでなかなか話してくれないのもあり、頼りすぎではいけないけれど、親の他に1人大人に話せる先生がいたら親は少し安心もあります。今の所は楽しく元気に行けています。それも先生方のおかげもあるので感謝しています。みんなが平和で楽しい学校生活ができるのを願っています。
- 理解のスピードはそれぞれなので、個々に合わせて分かったという喜びややる気に繋がる学習をして頂けると子供にとっては学ぶのは楽しいと思えると思います。
- 外国語の授業を学習参観で見ましたが、子供たちが生き生きと楽しそうに参加していました。見ている私も入り込んでしまい、上の子の学習参観を見る時間が少なくなっていました…。私も小学生の時にこんな楽しい授業を受けたかったなあ～と羨ましく思いました。
- 宿題で自主勉強をする機会が増えましたが、どうしたらもっと良くなるのか、次につながる何かを示してほしい。
- 進みが遅い子を待つのではなく、早い子は早い子なりに対応してくれることを希望しています。遅い子にはそれに応じた対応をお願いしたいです。
時間の制約等あるかと思いますが、教科学習のみならず子どもたちにとって必要な様々な学びや経験に対して中途半端な感じがします。
- 様々な状況の子供達があり、大変だとは思いますが、子供達が落ち着いた環境で集中出来る様に整えて頂きたいです。

(2) 「保護者・地域との連携」について

	「そう思う」「どちらか」というとそう思う」	「分からない」	肯定的回答の昨年度比
お便りやホームページ等で学校や児童の様子を伝えている	90.8 %	2.5 %	+0.3
保護者や地域からの情報や相談事に	77.1 %	16.4 %	-0.8

適切に対応している			
児童が安全な学校生活を送れるように校舎内外の施設整備をしている	75.2 %	16.4 %	-3.7

昨年度と同様「お便りやホームページ等」での情報発信については9割の方々から肯定的回答をいただきました。児童の安全については、地域の見守り隊の皆さん等、ボランティアの方々への感謝の声がたくさん寄せられました。一方、登下校時や放課後等の路上や公園での危険な行為について、心配の声も寄せられました。学校でも機会あるごとに指導を行っていますが、これからも御家庭や地域での見守りを願います。

<保護者の皆様の御意見の紹介>

- 不審者情報をWEBや他のお母さんたちから知ることが多いので、情報があればもっと知りたいです。今年、子どもの様子を伝える手紙が、減った様に思います。
- 見守り隊や横断歩道を安全に渡れるように見ていただいているの方々には感謝しかありません。これからもいい関係を作っていってほしいです。
- アプリで連絡を頂けるようになったのはとても助かります。ですが不審者、熊出現情報が小学校側だけ、中学校側だけ、といった偏りがあります。中学生だけのご家庭には小学校で流した不審者情報が分からないのはどうかと思います。

Ⅲ 家庭での学習・生活について

	「そう思う」「どちらかというと思う」	昨年度比
学校の学習への意欲的な取組	74.3 %	-5.6
家庭での学習への意欲的な取組	55.2 %	-5.3
「学年×10分」以上の家庭学習の習慣	50.1 %	-3.6
読書に親しむ態度	57.8 %	-3.7
生き生きとした学校生活	89.3 %	-3.3
学校や社会の決まりを守って生活	95.4 %	-2.7
感謝の気持ちをもって生活	86.5 %	-3.2
言葉遣いに気を付けながら生活	72.1 %	-2.2
友達と仲良く生活	95.0 %	-2.5

「学校や社会の決まりを守って生活」「友達と仲良く生活」の項目は95%程度と高評価でした。しかし、「家庭での学習への意欲的な取組」「家庭学習の習慣」「読書に親しむ態度」は昨年同様低い評価でした。特に、高学年になるにつれ「ゲームやYouTubeなどばかりに時間を使って、どうしたら学習の意義を分かってもらえるのか」等、心配の声が寄せられました。自主学習への取り組み方にも御意見をいただきました。それぞれの学年の発達段階に合わせて、自主的に学習する態度を育成することができるよう、令和7年度に向けて検討中です。

<保護者の皆様の御意見の紹介>

- 言葉遣いの面で家庭でも繰り返し話しているのですが、相手の気持ちをよく考えずに発言してしまったり、乱暴な言葉遣いをする事もあるので、お友達に嫌な思いをさせてしまう事もあるのではないかと心配です。
- 家に帰ってきたら宿題をする姿勢はできているがやる気がなさすぎて進まない。親に宿題を見られるのを嫌がる（字が汚いからやり直しさせるのが嫌なため）字は誰が読んでも読めるようにしたいのに悩み言葉づかいは、友達の影響が大きいように思います。
- ドリルやワークがあれば宿題としてやりますが、自主学習となるとやりたがりません。あーしたら？こーしたら？と勧めてはいますが回数としては足りない状況です。
- YouTubeやゲームはしっかり時間をかけるのですが勉強はほぼやらないです。やってもながら（テレビ見ながら）勉強（宿題）時間が空いたら他の自分のやりたいことをしています。将来なりたいものになる為に勉強が必要かもよ！と言っても分かってはもらえません。習慣化って大事だなと思います。

IV 御家庭でのお子さんとの関わりについて

	「そう思う」「どちらかというと思う」	昨年度比
学校・学級便りや通信票を御覧になり、お子さんの努力を認め励ましている	95.7 %	-1.6
「はやね・はやおき・あさごはん」など生活習慣の維持に努めている	89.1 %	-3.1
お子さんの学校での交友関係や生活についてよく知っている	88.8 %	+0.1
テレビを見る時間やゲームをする時間、タブレットを使用する時間を決め、お子さんに守らせている	69.7 %	+1.1
家庭学習の手引き等を活用し、お子さんの家庭学習をサポートしている	61.4 %	+2.1

他のアンケート項目とも関連しますが、テレビ等の視聴やゲームをする時間を適切にさせることが難しいようです。質のよい睡眠や学習時間の確保とも関わります。質のよい睡眠が確保できないと、日中の活動への意欲が低下してしまいます。大和町では、高学年向けに「児童生徒スマホ・ゲーム等の利用に関する研修会」を開催しています。是非、よりよい生活のためにどのようにしたよいか話し合うきっかけにしてほしいと思います。

<保護者の皆様の御意見の紹介>

- 平日は、帰ってきて宿題をやらせる事で精一杯になっていますが、お風呂やご飯時に一日の出来事を聞いています。平日できないことは、土日にたくさん関わりたいと思い、出かけたり、遊ぶようにしたりしています。ただ、親の都合時間になっているところがあるので注意したい。
- 家庭学習の大切さは懇談会などでも聞いているし理解しているが、なかなか思うようにできていない。親として不十分さを感じている。
- 学習の仕方が少しずつ分かってきて、自主勉強を楽しみながらしていて、担任の先生から褒めて頂けたりして、意欲的になっている
- 宿題があることで、やらされ感があるかも知れませんが、家庭学習をするきっかけだと思います。ぜひ宿題を復活させてください。
- 声を掛けることだけで、勉強を見るとか、付き合うとかはなかなか出来ませんが、高学年なので、あまり干渉し過ぎず、伝えることは伝える感じです。それで勉強しないので、もっと厳しくすべきかは悩みます。

V その他

- 周りの保護者の方達とよく話題になるのは宿題の少なさです。大和町の学力の低さが聞かれるわりに宿題も少なく、自主性に任せすぎな部分があるのかなと思われれます。
- 自主学習は本人に任せると楽なもの、雑な方へと行きがちです。結局、親がドリルを買い、ノートに貼る為にコピーを取ってやらせることが多いです。丸つけはしますので、学校からのドリルを持たせてもらうことはできないでしょうか。
- テトルになって、学校からのお知らせが確認しやすく、また、学校への連絡がしやすくなりました。
- 登下校やそれ以外でも特に小さいお子さんで道路への飛び出しが何度か見たり経験したりしている。幸い事故にまでなっていることは見ていないが危ない場面がある。自分の子供には家庭で注意は促しているが機会があれば学校でもさらに注意を促して欲しい。冬は路面凍結もあり、一昨年ブレーキが間に合わないのではないかとと思うほどのことがあった。
- まだクラスの一部の子がうるさく授業に集中出来ないようです。先生方に取り組んでいただいているのは大変ありがたいと思っておりますが、一部の子のために何年にも渡って授業を遅らせるのは考えものかなと正直思っている次第です…。私立のように進度に合わせてクラス編成を行うのは難しいのでしょうか？
- クラスメイトとのやり取りでうまくいかないことがあると、先生に相談して、迅速に対応してもらっており、子供も安心して学校生活が送れています。感謝しています。
- 学校での学習で本人も自信がついて 現状勉強に対して苦手意識を持つことなく、家庭学習も楽しんでできています。友人関係なども担任の先生にフォローしていただいて 拒否感持つことなく学校へ通えていますので先生には感謝しております。 家庭でも本人のやる気を伸ばし、子供の可能性を広げるよ

うな教育が出来るように勤めます。

お忙しい中、御回答いただき誠にありがとうございました。また、たくさんの御意見をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。これからもお気付きの点がございましたら、どうぞ御遠慮なく学校までお知らせいただければと思います。今後とも、保護者の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

(文責：主幹教諭 石川)